

## ≪三郷特別支援学校の活性化・特色化方針≫

種別	知的障害	学部・学科	小・中・高等部	R5.5.1 児童・ 生徒数	(男) 224 (女) 98	計322
アクセス	JR 武蔵野線「新三郷駅」より徒歩25分					
＜教育課程等＞						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害特性や一人ひとりの実態を踏まえた教育内容。</li> <li>・高等部は生徒の実態や課題に合わせて教育課程を3つに分け、一人ひとりに応じた学習を行っている。 (教育課程A、教育課程B、重複学級)</li> <li>・キャリア教育を基盤に小学部から高等部までの12年間を見通した教育に取り組む。</li> </ul>						
＜学校行事・部活動＞						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・全校で取り組む行事には、入学式、三陽祭（文化祭）、卒業式がある。体育祭は令和5年度、小中学部、高等部と分かれて実施。</li> <li>・各学年で実施する校外学習は、社会体験学習、遠足、集団宿泊学習、修学旅行等がある。</li> <li>・高等部は水曜日に部活動（運動部5、文化部3）があり、球技部が中心となって県主催の陸上大会、サッカー大会、バスケットボール大会に出場している。</li> </ul>						
＜家庭・地域との連携＞						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校公開を年2回実施。</li> <li>・希望する小学部、中学部、児童生徒に対して、支援籍学習を実施。</li> <li>・就学や転学を希望する方々に対して、学校見学会を小学部3回、中学部2回、高等部3回（内2回は入学選考説明会を兼ねる）計8回実施。</li> <li>・センター的機能の一環として、小中高等学校等への支援や相談、研修等を行っている。</li> <li>・三郷高校・三郷北高校、杉戸農業高校と毎年交流会を実施。（Webシステムを活用した交流を含む）</li> </ul> <hr style="border-top: 1px dashed #000;"/> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣の小学校（瑞木小・立花小）、中学校（栄中）との交流会。</li> <li>・地域の方々のボランティア活動。</li> </ul>						
＜進路＞						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒一人ひとりの能力を把握し、適性を見極め、個々の持つ可能性を引き出していくことにより、社会的自立を目指している。その実現に向けて、日々の学習活動や作業学習、校内・現場実習等に取り組んでいる。</li> </ul> <p>【企業就労】 サービス業（小売、飲食）、運輸業（倉庫内作業、ピッキング）等。</p> <p>【福祉的就労】 三郷市・八潮市・吉川市の福祉施設等に就労。</p>						

## 2 育成方針（児童生徒の成長物語）三郷特別支援学校



本校のスクールキャラクター  
みさとちゃん



### 学校教育目標「心豊かに学び 主体的に生きる力を育てる」

めざす学校像「仲間を認め合い、絆を深めながら楽しく学べる学校」「家庭や地域と連携し、豊かな体験を通して児童生徒一人一人が自ら学べる学校」「共生社会の実現を目指し、地域のセンターとしての役割を果たす学校」

意欲を育む学校行事  
運動会 三陽祭



#### 小学部の目標

元気に遊ぼう  
楽しく学ぼう

仲間とともに育ち合おう

- 元気な体をつくる
- 興味・関心を持つ
- 意欲的に学ぶ
- 豊かな人との関わり
- 最後まで努力する

中学部の目標  
自分の思いや願いを伝え、  
友達と共に活動し、  
学校生活を楽しもう

- 基本的な生活習慣の確立
- 健康で丈夫な体づくり
- 集団活動での学び合い
- 気持ちの表現
- 意思決定する力

#### 高等部の目標

豊かな人間関係を築き、  
生活を切り拓く力を育てる

- 目標をもち意欲的に取り組む力
- 人との関わりを広げる力
- 地域社会に参加する行動力
- 仲間と協力し成し遂げる力
- 最後までやりぬく力
- 学ぶ意欲を高める力
- 経験を増やし生活を高める力

地域の一員として笑顔で  
主体的に  
生きる力

自己実現を図る進路指導  
校内実習・現場実習の充実

- 高1は2・3学期に校内実習を行い、3学期は現場実習を行う生徒もいます。
- 高2・高3では、個々の特性や適性を見極めながら、校内実習と現場実習を期間外にも必要に応じて行います。



キャリア教育の観点に基づき、  
小学部からの12年間を見据えた学習

障害特性を踏まえた  
きめ細かな指導

臨床心理士、作業療法士等の専門家の指導を活用

★個に応じた指導・支援の充実を図ります←学校教育目標の達成とめざす学校像の実現に向けて

- 個別の教育支援計画（プランA）、個別の指導計画（プランB）を本人・保護者のニーズを踏まえ作成します。
- 計画にもとづき丁寧に指導・支援します。
- 児童生徒の成長のようす（目標を達成したか）を評価します。
- 成長のようす（評価）を保護者に丁寧に伝えます。
- 指導と評価を一体化し、授業を改善し指導をさらに充実させます。

